

障害児施設（児童発達支援）

○事業所名	杉の子園（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年10月10日		～ 2025年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2025年10月15日		～ 2025年11月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・あり方検討委員会で、利用者獲得の取り組み等、施設の核となる組織で話し合い運営を進めている。	・利用者獲得の取り組みを話し合い、母子グループについては月・木グループの開始時期を決め、休みの振り替え日を作ることとした。	・来年度について利用者のニーズに寄り添った体制を構築していきたい。
2	・施設公開を毎月実施している。 ・Xを週1度発信している。	・施設公開では年度当初に児童センター、保健センター、公民館、幼稚園等に広くチラシを置いていただき、広く周知をした。 ・Xでは職員が活動やイベントを写真に載せる等、お子さんの楽しそうな様子を発信している。	・施設の情報を更に発信し、お子さんが楽しく活動している様子等により、利用児の獲得に繋げていきたい。
3	・隣接する公立保育園との交流保育を実施している。 ・近隣にある同法人の障害者施設と不審者対策研修を実施している。また、その施設に勤務する看護師が講師となって研修を実施している。	・隣接する保育園の園児とお互いの園を行き来し、遊びを通して様々なお友達と関わる経験を積んでいる。 ・同法人の障害者施設との不審者対策研修では、警察署立会いの下、訓練も含めて実施している。また、その施設の看護師から感染症対策や発作の対応を教えていただき、見識を深めている。	・近隣施設での、災害時による協力体制等を築いていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地盤沈下による園舎の傾きがあり、令和9年度は別施設（所在は浦和区）で運営をする予定となっている。見学者にその旨を伝えることで、当施設ではなく、他施設の利用を決めることがある。	・現在、中央区に施設があるため、中央区・桜区の利用者が多い。浦和区に施設が移転することで、通いづらくなってしまいう。	・通園距離等の問題があっても、それ以外で魅力ある施設作りを行えるように保護者のニーズを把握し、寄り添った体制作りをする。
2	・保護者による直接送迎をお願いしている。また、家からお弁当を持参していただいている。	・施設には送迎バス、給食設備がないため。	・直接送迎だからできることを大切にしていく。保護者にお子さんの様子を丁寧にお伝えしたり、情報共有をしていく。
3	・職員体制が整わない際に、外部での会議や研修等に参加できないことがある。	・職員の休暇や外部での会議が重なり、職員体制が整わない。	・職員間で協力体制を整え、外部での会議や研修に参加できるようにしていく。

事業所名 さいたま市杉の子園（児童発達支援）

公表日 令和8年 3月 10日

配付数 51

回収数 36

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	5	0	0	・人数に対して広くスペースがあり、のびのびと活動できているようです。 ・人数が増えてきているので、特性によりスペースがもう少しあればと思うことがあります。	・ご意見ありがとうございます。 通園グループ、つくしんぼグループでは活動毎に担任同士で話し合い、ホールや教室を使用しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29	5	0	2	・人数に対し先生方の目が行き届いているなど感じます。 ・プールといったイベントのときは、足りないと感じることがあります。	・ご意見ありがとうございます。 プール遊びの際には、危険箇所を把握して監視の職員を配置し、安全に留意していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	2	0	2		・門から玄関まではスロープとなっており、園内はバリアフリーとなっています。また、各教室からトイレにすぐ行ける構造となっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	3	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	1	0	2		・支援プログラムを園内に掲示しましたので、ご覧ください。ご質問等がありましたら、遠慮なくお声掛けください。（さいたま市社会福祉事業団のホームページにも掲載しています。）
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	0	0	1		・個別支援計画にて支援内容を提示させていただき、支援をさせていただいています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	2	0	1		・お子さんが楽しめるような、新しい活動の情報を取り入れ実践していきたいと思えます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	22	6	1	7	・年少でまだ交流を経験したことがないです。今後の予定に交流があるのでどちらともいえないにさせていただきます。	・ご意見ありがとうございます。 今年度は12月に大戸保育園との交流保育を実施いたします。年少さんは杉の子園に保育園児が来園した際に参加していただきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	35	0	0	1	・園で開催された勉強会、ペアレントトレーニングの勉強会も情報提供を頂きありがとうございます。子供とのかかわり方を見直すきっかけとなりました。 ・参加は出来ていませんが、このような活動がある事は知っています。	・ご意見ありがとうございます。 今年度の保護者対象の勉強会は、9月9日に言語聴覚士の先生に実施いただきました。また、療育センター等で実施されるペアレント・トレーニング等の研修の周知をさせていただきました。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	34	2	0	0	・いつも丁寧に園での様子を共有頂きありがとうございます。 ・何も伝えてもらえないときが、時々あります。	・ご意見ありがとうございます。今後もお子さんのご様子をできる限りお伝えさせていただきます。 ・申し訳ありませんでした。お子さんご様子についてなるべくお伝えできるようにいたしますが、ご不明点がありましたら、その場でもお電話でもお声掛けください。よろしくお願いいたします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	0	0	0	・親の気持ち、子の気持ちに寄り添っていただけています。いつもありがとうございます。	・ご意見ありがとうございます。今後も、ご利用されている皆様に寄り添って支援させていただきたいと思っております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	27	4	0	5	・参加は出来ていませんが、このような活動がある事は知っています。	・ご意見ありがとうございます。今年度、通園グループ、つくしんぼグループではきょうだいの方の夏休み期間に、一緒に活動に参加していただく機会を設けました。杉の子園でどのような活動をしているのかを知ることができた等のご感想をいただきました。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	0	0	1		・面談時等にご要望やご意見を伺っています。また、相談等はいつでもお声掛け下さい。早急に対応してまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	1	0	3	・特定の先生のみ声かけやコメントをいただくことが、最近増えてきたように感じます。	・ご意見ありがとうございます。なるべく多くの保護者の方にお声掛けができるよう、担当を決めている場合もあります。保育の終了後には保護者の方のお話は、職員間で共有しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	1	0	9		・週に1回、Xにてお子さんの活動や、園からのお知らせを発信しています。毎月お配りしている杉の子園だよりにリンク先を載せております。Xではさいたま市社会福祉事業団が運営している他の児童発達支援センターの情報も発信しておりますので、どうぞご覧ください。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	0	1	5		・留意できていなかったのご意見をいただき、申し訳ありませんでした。職員の退勤時に個人情報が増載された書類やパソコン等はキャビネットに収納し、施錠をすることや、不要な書類はシュレッダーで処分する以外にも、今後は細心の注意を払い、個人情報を取り扱ってまいります。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	1	0	5		・避難（防災）訓練は月1回実施しています。その際に、必要なことは保護者の方にお伝えするようになっています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	0	0	5		・不審者対応訓練は、今年度、杉の子園とみずき園の職員対象に合同で実施しました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	1	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	0	0	5	・事故、ケガをしたことがない為。	・ご意見ありがとうございます。今後、万が一、事故や怪我が発生した際には、速やかにご報告とご説明をさせていただきます。
27	子どもは安心感をもって通所していますか。	33	1	0	2	・通園して間もないが「次はいつ!」と楽しみにしているようです。	・ご意見ありがとうございます。お子さん達が安心して通園できるよう、環境設定や職員の育成等に取り組んでまいります。	

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	33	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ママと一緒に良いと言いながらも、毎日楽しみにしています。好きなプログラムもできて毎回嬉しそうにしています。 ・行った内容を話してくれるようになり、子どもの成長を感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。今後もお子さん達が楽しく通園できるよう、楽しいプログラムを用意していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足しています。 ・先生方が一緒に居る子たちと良好な関係をきづいているようです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を励みに、職員一同、今後も精進してまいります。

事業所名 さいたま市杉の子園（児童発達支援）

公表日 令和8年3月10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	・各クラスリーダーが月1回会議を持ち、ホール等の部屋の使用を決めている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2		・園児により丁寧に関わりたい場面が多いので、職員の休み等不在が重なると職員の数が必要に感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	・電気やエアコン等のスイッチの位置が子どもの手の届く高さにあるが、×マーク等をつけ、触らないように工夫している。	・2階に行くのは階段しか手段がない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	2		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	・朝、降園後にクラス内での打ち合わせ、反省を毎回行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・年1回、利用者アンケートを実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・行事は参加した職員全員で反省会を実施し、意見を出し合う場としている。 ・記録の担当を予め決めて、支援に入るようになったことで、支援の取り組みを意識できたり、記録の時短につながったと感じる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	0	・今年度、実施予定である。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・計画に沿えるよう、どの場面で実施できるか等を支援開始前に意識したり共有できていると思う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1		・サービス担当者会議の実施が行ってけると良い。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	0		・隣接する公立保育園との交流保育でお互いの施設を行き来し、交流の経験を積んでいる。(今年度は12月・1月実施)
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		・直接送迎(通園バスなし)のため、その日のお子さんの様子を保護者に直接伝えることができる。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0		・クラス懇談会を実施し、保護者同士の交流を図っている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・月1回の園だより、週1回のX投稿で、園の情報を発信している。	・Xについて職員は工夫して活動を行い、写真を撮り、投稿しているので、2次元コードを玄関に貼りだす等、発信していることをもっと知っていただいても良いのではと思います。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		・個人情報がある書類やパソコンは退勤時に施錠のできるキャビネットに収納している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1		・杉の子ひろば（施設開放）を月1回実施している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		・今年度は該当者なし。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		・全職員がチェックリストを付け、集計し検証している。また、支援についての研修を実施している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0			